

事業番号	05 06 22	事業改善シート（28年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	精神障がい者地域生活支援事業					担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト						課・局・室	保健・疾病対策課	
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり 1 保健活動の推進					E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp	
		6－2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障害者支援の充実 4 社会的援護の充実							
							実施期間	S50 ～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針								
	施策展開								

1 事業の概要

目指す姿	医療・保健・福祉が連携し、地域の受入体制（生活の場・相談する場・昼間の活動の場、地域住民の理解等）が整備されることで、退院可能な精神障がい者が安心して地域で生活することができる。											
現状 （予算編成時）	精神障がい者の精神科病院入院に関するデータ：入院後3か月時点の退院率 62.6%（調査対象年度H24）、入院後1年時点の退院率 90.7%（調査対象年度H24）、長期在院者数 2,683人（調査対象年度H24）											
県が関与 する理由	県でなければ実施不可（その他）		【左記の説明、根拠法令等】 障害者総合支援法第78条（都道府県の地域生活支援事業）、精神保健福祉法第46条（正しい知識の普及）第47条（相談指導）、精神保健福祉法第2条、厚生労働省公衆衛生局長通知（S50.7.8 付け発第374号）、「こころのバリアフリー宣言」（平成16年3月25日付け厚生労働省通知）									
	県民との協働による実施：実施は困難											
成果目標・ 事業内容	① 成果目標（H28） 精神障害者の精神科病院入院に関するデータ： 調査対象年度H24の入院後3か月時点の退院率 62.6%以上、入院後1年時点の退院率 90.7%以上、長期在院患者 3,683人以下を、H29にそれぞれ64.0%以上、91.0%以上、2,370人以下にする。（障がい者プラン） 地域ケア推進事業の研修会等の事業参加者総数 1,000人（現状と同等） 若者向け心のバリアフリー事業 年間 5校の高校に当事者講師を派遣（平成27 度実績見込みと同等）											
	② 事業内容 （単位：千円）											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						（当初）	（決算）	（当初）				
	新精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会議		直接	県下10圏域の障がい者総合支援センター等に配置されている精神障がい者地域生活支援コーディネーター等を参集し、連絡会を開催する。		105	0	68				
	精神障がい者地域生活支援関係者研修		直接	・圏域事業実施体制強化のための研修 ・地域移行に関する管内関係者研修（10か所）		1,640	537	988				
	障害者支え合い活動支援事業		委託	・精神障がい者理解のための普及啓発活動 ・入院中又は退院後間もない精神障がい者に対する、当事者支援員の訪問支援 （委託先：長野県ピアサポートネットワーク） ・当事者家族が家族支援員となるための養成研修会 （委託先：長野県精神保健福祉社会連合会）		1,202	1,172	1,179				
	精神障害者地域ケア推進事業		直接	一般県民、民生児童委員、自治会役員、精神保健福祉関係者等を対象に研修会等を実施（10か所）		206	172	206				
	若者向け心のバリアフリー事業		委託	精神疾患を経験した当事者を講師として高校に派遣し、若者の精神疾患に対する偏見をなくす。（4校） （委託先：せいしれん）		105	93	105				
				合計		3,258	1,974	2,546				
事業 コスト	区 分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算 額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	3,258	3,258	2,546				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計（A）	3,258	3,258	2,546							
	Aの 財源	一般財源	1,455	1,455	1,277							
		県 債										
		国庫支出金	1,803	1,803	1,269							
		その他	0	0	0							
	決 算 額（B）		2,096	1,974								
	概 算 人件費	職員数（人）	0.30	0.30	0.30							
		概算人件費（C）	2,483	2,374	2,374							
	概算事業費（B（A）+C）		5,741	4,348	4,920							
目標に対する成果 の状況		・入院後3カ月時点の退院率は目標を下回ったが、経年で見ると成果が現れているため、引き続き関係機関の理解を図っていく。 ・各圏域で地域移行のコーディネート機能を持つ担当者を中心とした活動や、保健福祉事務所等による研修、精神障がいの当事者相談員によるピアサポート活動等の取組により精神障がい者の地域移行を推進し、退院率は目標を達成した。 ・地域ケア推進事業は各保健福祉事務所で開催しているが、多くの一般市民対象の研修会より、障がい種別の家族・支援者向け研修等が増えている。 ・高校に当事者講師を派遣する若者向け心のバリアフリー事業は新たに利用された高校もあるが、高校関係者への更なる周知が必要。										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	支援関係者との連携により、地域生活支援の専門的な能力の向上及び人材育成の充実を図る。 地域全体に精神疾患の理解促進が図れ、早期の退院支援・地域定着が進むよう、引き続き事業に取り組む。